

河 川 別 集 計 表					
河川名：鹿曲川・小相沢川（一級河川）					
番号	施設名	施設番号	延長(m)	ゲート数(基)	備 考
	【鹿曲川】				
1	月の岩	326-6	0	0	
2	玉の井橋上	326-25	177	4	
3	大日向	326-2	493	2	
4	柳田	326-1	281	1	
計	4		951	7	
	【小相沢川】				
1	島川原1号	326-8	596	1	
2	島川原2号	326-26	429	0	
3	島川原3号	326-10	271	0	
4	島川原4号	326-11	795	1	
5	前田右岸	326-9	293	0	
6	前田左岸	326-9	1,249	0	
7	市坂1号	326-27	214	0	
計	7		3,847	2	
合計	11		4,798	9	

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
月の岩 (326-6)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		取水していない			別紙のとおり				無	理由: ③			

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
玉の井橋上 (326-25)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工	現場打コンクリート三面張(堤外水路) 2000～1750×600		58	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①				
		1	水門工	巻上式 取水 φ500			別紙のとおり			S-5	無	理由: ①				
		1	水門工	巻上式 余水900×900			別紙のとおり			S-5	無	理由: ①				
		1-1	水路工	ヒューム管 φ500		6	別紙のとおり			S-5	無	理由: ①				
		1-1	水門工	巻上式 余水 φ300			別紙のとおり			S-5	無	理由: ①				
		1-2	水路工	土型水路 2000～700×900		29	別紙のとおり			評価不可	無	理由: ③				
		1-3	水路工	U-300B型		39	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-4	水路工	BF-250型		45	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-4	水路工	円形ゲート(塩ビ製)						評価無し	無	理由: ③				
		計				L=177m										
						ゲート数 4基										

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 〔対策期間：令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
大日向 (326-2)		着工	完成	ha			延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位：千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水門工	角形鋼製巻上ゲート 1200×600(戸当木製)			別紙のとおり			S-4	無	理由： ①				
		1-1	水路工	構造・寸法不明		45	別紙のとおり			評価不可	無	理由： ③				
		1-2	水路工	現場打コンクリート三面張 600～350×500		103	別紙のとおり			S-4	無	理由： ①				
		1-3	水路工	構造・寸法不明		94	別紙のとおり			評価不可	無	理由： ③				
		1-4	水路工	HP-φ300型		13	別紙のとおり			S-4	無	理由： ①				
		1-6	水路工	構造・寸法不明		89	別紙のとおり			評価不可	無	理由： ③				
		1-5	水路工	土型水路 400～300×200		44	別紙のとおり			評価不可	無	理由： ③				
		1-6	水門工	円形鋼製引上式ゲート φ300			別紙のとおり			S-3	無	理由： ①				
		1-7	水路工	U-450型		43	別紙のとおり			S-4	無	理由： ①				
		1-8	水路工	現場打コンクリート二面+練石積 1400～1200×800		62	別紙のとおり			S-3	無	理由： ①				
		計				L=493m										
						ゲート数 2基										

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
柳田 (326-1)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計画) の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直しの ための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水門工		角形巻上式鋼製ゲート 650×500			別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		1-1	水路工		BF-500型	21		別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		1-2	水路工		BF-300型	63		別紙のとおり			S-2	有	理由: ー	水路目地補修等 R10		
		1-3	水路工		U-300B型	61		別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		1-4	水路工		U-240型	136		別紙のとおり			評価不可	無	理由: ③			
				計			L=281m									
					ゲート数 1基											

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

ー機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
島川原1号 (326-8)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート二面張+練石積 450×300×300	16	別紙のとおり			S-2	無	理由: ③	水路目地補修等 R10			
		1-1	水路工		U-300B型	61	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-2	水路工		BF-300型	272	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-3	水路工		U-300B型	41	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①				
		1-4	水路工		BF-300型	109	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		2-1	水路工		角形鋼製引上式ゲート 250×200		別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		2-1-1	水路工		BF-250型	97	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
			計			L=596m										
				ゲート数 1基												

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
島川原2号 (326-26)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超 えている かを判 断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート二面張+練石積 500～350×300	27	別紙のとおり				S-2	無	理由: ③	水路目地補修等 R10		
		1-1	水路工		BF-300型	52	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①			
		1-2	水路工		U-300B型	191	別紙のとおり				S-3	無	理由: ①			
		2-1	水路工		BF-250型	159	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①			
			計			L=429m										

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
島川原3号 (326-10)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超 えている かを判 断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート二面張+練石積 400～250×300	57	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①				
		1-1	水路工		BF-250型	214	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		計			L=271m											

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
島川原4号 (326-11)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート二面+練石積 400×250×300		74	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①			
		1-1	水路工		BF-250・300型		497	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		1-2	水路工		VS-450×800型		37	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		2-1	水路工		円形鋼製巻上式ゲート φ300			別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		2-1-1	水路工		BF-200型		81	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		2-2	水路工		BF-200型		106	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
			計				L=795m									
							ゲート数 1基									

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市			記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年				
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
前田(右岸) (326-9)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート二面+練石積 500～350×300		24	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①			
		1-1	水路工		BF-250・400型		269	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		計				L=293m										

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

- ①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設
 ②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設
 ③消耗又は劣化が想定できない施設
 ④造成、更新等の実施後、間もない施設
 —機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市		記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年						
				施設管理者	東御市												
施設名		造成工期		受益面積	造成事業	機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕							
前田(左岸) (326-9)		着工	完成	ha		延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画			
施設 全体 の 概要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入			
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート二面+練石積 500～350×300	19	別紙のとおり				S-3	無	理由: ①				
		1-1	水路工		U-300B型	31	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		1-2	水路工		BF-350型	290	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		1-3	水路工		U-300B型	118	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		1-4	水路工		BF-250型	66	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		1-5	水路工		U-300B型	96	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		1-6	水路工		BF-300型	357	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		2-1	水路工		角形鋼製引上式ゲート 250×250		別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		2-1-1	水路工		U-240型	58	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		2-1-2	水路工		BF-250型	182	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		2-1-3	水路工		U-600型	32	別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
			計			L=1,249m											
						ゲート数 1基											

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由
①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設
②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設
③消耗又は劣化が想定できない施設
④造成、更新等の実施後、間もない施設
－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
市坂1号 (326-27)		着工	完成	ha							〔対策期間：令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位：千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超 えている かを判 断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート二面+練石積 450～300×300		58	別紙のとおり			S-3	無	理由： ①			
		1-1	水路工		BF-250型		156	別紙のとおり			S-4	無	理由： ①			
		計				L=214m										


管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

- ①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設
 ②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設
 ③消耗又は劣化が想定できない施設
 ④造成、更新等の実施後、間もない施設
 —機能保全計画の対象

$\frac{1}{2}$

326-6 月の岩 A=1.2ha

芦田川→

凡	例
S 5	
S 4 · 3	
S 2	
判定不能	

事業名	令和4年度 東海市環境事業 農業用施設等可塑材料面定置路支柱		
河川名	西条川		
図面名称	橋保保全計測平面図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 2
作成年月日	令和 年 月 日		
調 査	長野県土木改良事業団体連合会		
発注主体	東 海 市 役 所		

鹿曲川水系機能保全計画平面図(2/2)

2/2

1/2

326-1 柳田 A=2.0ha

326-2 大日向 A=4.0ha

326-8 島川原1号 A=2.5ha

326-26 島川原2号 A=0.6ha

326-10 島川原3号 A=1.5ha

326-11 島川原4号 A=3.0ha

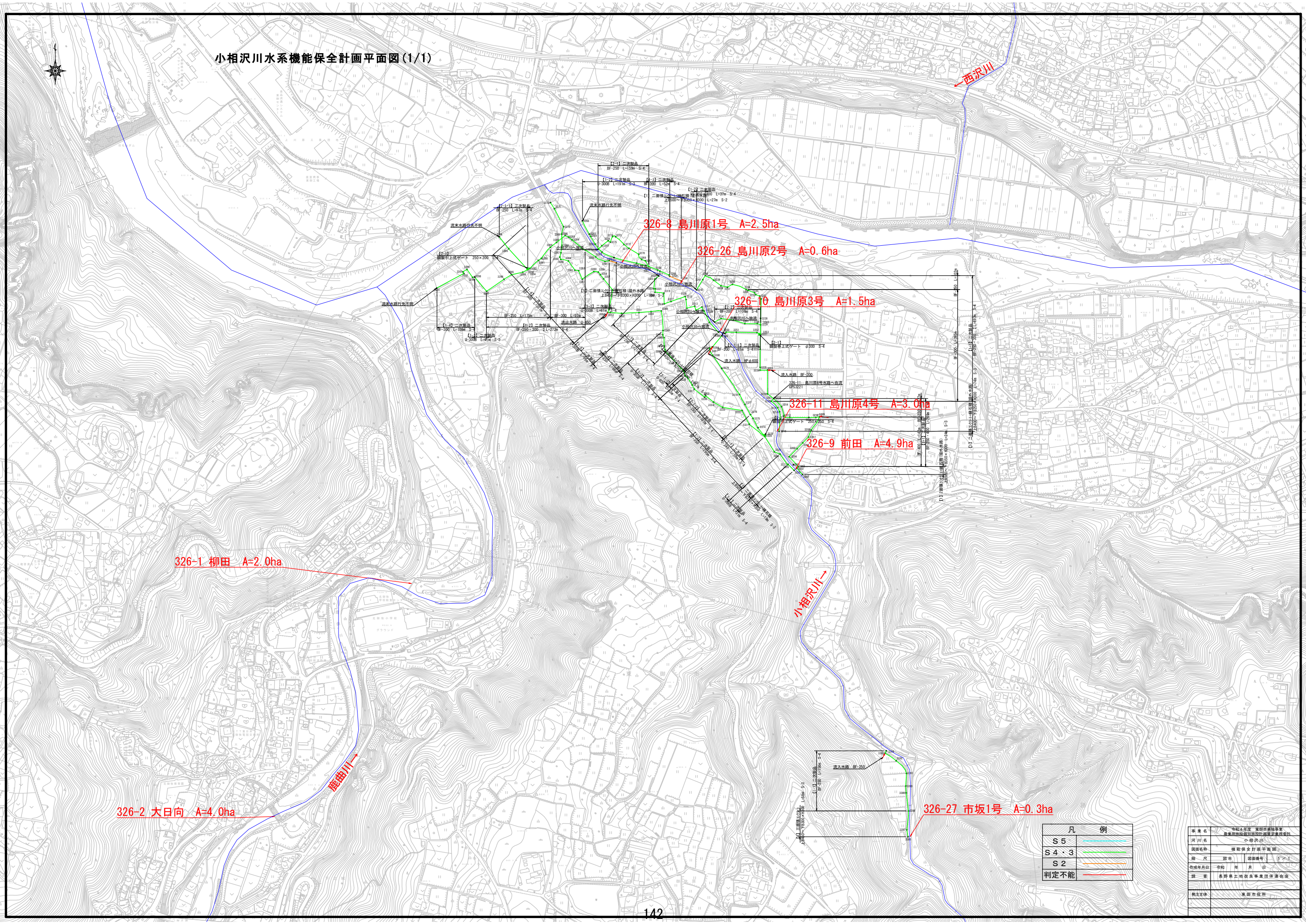
326-9 前田 A=4.9ha

326-27 市坂

凡 例	
S5	
S4・3	
S2	
判定不能	

事業名	令和4年度「東御市扇垣有葉 農業用施設利用施設計画策定事業」		
河川名	扇垣川		
図面名称	機能保全計画平面図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 2
作成年月日	令和 年 月 日		
調査	長野県土地改良事業推進委員会		
発注主体	東御市役所		

小相沢川水系機能保全計画平面図(1/1)



凡 例	
S5	
S4・3	
S2	
判定不能	

事業名	令和4年度 富岡市単独事業 農業用施設建設設計年度定率受託			
河川名	小相沢川			
図面名称	機能保全計画平面図			
縮尺	図示	図面番号	1/1	
作成年月日	令和	年	月	日
調査	長野県土地改良事業団体連合会			
批准主体	富岡市役所			